国際ジオシンセティックス学会日本支部　2020 年通常総会　議事録

１．日　　時：　2020 年 2 月 6 日（木）15：30～16：30
２．場　　所：　地盤工学会　地下会議室
３．議事資料：　2020 年通常総会議題書
４．議事内容

（１）　開会宣言

・　平井幹事長より 2020 年通常総会の開会宣言がなされた。
・　出席者は個人会員 21 名、特別会員 9 社、委任状議決票 147 で総票数 213。全会員の総議決票数 292 の過半数 146 を上回り、通常総会は成立した。

（２）　議長選出及び議長挨拶

・　議長には桑野支部長が選出され、承認された。

（３）　2018 年事業報告及び 2019 年事業計画【資料 1】

・　資料に基づき、各委員会より 2019 年活動報告、2020 年活動計画についてそれぞれ説明がなされ、承認された。

（４）　2019 年収支決算・ 2020 年予算(案)（財務委員会）【資料 2】

・　資料に基づき、伊藤会計幹事より 2019 年決算報告、2020 年予算（案）について説明がなされ、承認された。
・　ジオメンブレン委員会追加予算について収支報告と整合性取れた表記にすべきという意見が出た。記載の仕方の修正を行うこととした。
・　2019 年支出実績が対予算△3 百万円となっている。予備費としての計上を検討してはどうかという意見が出た。
・　繰越金は将来的に使用の当てがあるのか？という質問に対し、将来的な使用方法については今後議論していく必要があり、現時点で具体的には決まっていないと支部長から回答された。

（５）　2019 年監査報告【資料 3】

・　資料に基づき、明永会計監事より 2019 年一般会計は適正かつ正確であることが報告された。

（６）　2020 年役員の選出【資料 4】

・　資料に基づき 2020 年役員の再任・新任（不在）について説明がなされ、承認された。

（７）　日本支部規程の変更について【資料 5】

・　資料に基づき日本支部規程の変更について説明がなされ、承認された。

（８）　閉会挨拶

・　桑野支部長の閉会挨拶により、2020 年通常総会は閉会した。

以上

国際ジオシンセティックス学会日本支部

2020 年通常総会議題書

【 議 事 次 第 】

開会宣言

議長選出

議長挨拶

2019 年事業報告及び 2020 年事業計画	【資料1】
2019 年収支決算 ・ 2020 年予算(案)	【資料2】
2019 年監査報告	【資料3】
2020 年役員選出	【資料4】
日本支部規程	【資料5】

閉会挨拶

2020 年 2 月 6 日(木)

於　地盤工学会内　地下会議室

国際ジオシンセティックス学会日本支部

２０１９年事業報告及び２０２０年事業計画

１．2019 年末会員数　　＊（ ）内は 2018 年末会員数

正 会 員	197 名	（ 193 名）
学生会員	10 名	（ 12 名）
特別会員	19 社	（ 18 社）

２．日本支部の主な活動

１）IGS 本部理事会：

3-1)2019 年は会長選挙・理事選挙はなかった。

3-2)理事会（古関理事、勝見理事）：2019 年 10 月ケープタウン（南アフリカ）

２）IGS 本部対応（会員名簿の提出、会費納入など）

日本支部から本部に会員数に応じて支払う会費のうち、新規入会した特別会員に対して入会金(300 USD)が新設されていることが判明した。対応して支部規程も更新し、今後の新規会員から適用する。

３）2019 年 12 月 5-6 日　第 34 回ジオシンセティックスシンポジウム（佐賀大学）

３．刊行物の発行事業

１．国際ジオシンセティックス学会日本支部会員名簿

２．ジオシンセティックス技術情報（3 月，7 月，11 月号）

３．ジオシンセティックス論文集第３４巻

2020 年についても、2019 年と同様の国際対応を含む事務局業務を行う。

１）本部対応（会員名簿の提出、会費納入など）

２）IGS 本部理事選挙（半数改選）

３）IGS 本部理事会

2020 年 4 月リオデジャネイロ（ブラジル）

2020 年 9 月ワルシャワ（ポーランド）

以上

ジオシンセティックス技術情報編集委員会２０１９年活動報告

（1）2019 年編集委員会活動報告内容

1) 第 1 回編集委員会（日時：平成 31 年 2 月 1 日(金)，場所：三井化学産資　8F 会議室）
- ’19 編集体制の確認・検討・決定
- ’19. 3 月号の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
- ’19. 7 月号の特集「ジオシンセティックスのメンテナンス分野への展開」の検討
- 技術情報の完成原稿の東進印刷社との帰属について

2) 第 2 回編集委員会（日時：令和元年 5 月 10 日(金)，場所：三井化学産資　8F 会議室）
- ’19 編集体制の確認：委員の退任，荻迫委員（清水建設）
- ’19. 7 月号の特集「ジオシンセティックスのメンテナンス分野への展開」に関する検討
- 技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，候補となり得る報文を検討し，次回の委員会で選考することとした。
- 技術情報の目次のアーカイブ化について

3) 第 3 回編集委員会（日時：令和元年 7 月 19 日(金)，場所：三井化学産資　8F 会議室）
- ’19.7 月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
- ’19.11 月号の目次案および編集工程の検討
- 技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，事前の委員選定結果に基づいて選考した。
- ジオシンセティックス使用量アンケート調査について

4) 第 4 回編集委員会（日時：令和元年 9 月 19 日(金)，場所：三井化学産資　8F 会議室）
- ’19.11 月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
- ’20. 3 月号の目次案および編集工程の検討
- ジオシンセティックス使用量アンケート調査について

（2）2019 年委員会設営費報告

内　　訳	予算（円）	実績（円）	備　　考
①　委員会経費			
・編集委員会	200,000		
		63,000	第１回編集委員会交通費
		64,000	第２回編集委員会交通費
		8,000	第３回編集委員会交通費
		65,000	第４回編集委員会交通費
合　　計	200,000	200,000	

ジオシンセティックス技術情報編集委員会２０２０年活動計画

（1）2020 年活動予定内容

＜全体の活動内容＞

定期発刊を心掛けるとともに,「技術報文」の投稿については，編集委員による情報収集のほか，情報提供して頂ける会員をオブザーバーという形で委員会にご参加して頂くとともに，シンポジウム掲載論文や他学協会の年次講演会を範疇に入れ，JC-JGS 技術賞候補論文および JC-JGS 技術奨励賞論文の対象に成り得るような質の高い「技術報文」の掘り起こしを積極的に行う予定である。

毎年，特集号として位置付けられる７月号については，最近のジオシンセティックス技術の動向を探る観点から，また，新たな展開を期待する意味合いから，「災害復旧で使用されるジオシンセティックス技術」をテーマとして技術報文を募集する予定である。

さらに，我が国におけるジオシンセティックス関連の規格・基準の整備の必要性が認識されつつあることから，ISO や ASTM で審議中の規格案に関する「審議情報」を積極的に掲載していくとともに，これまで同様,「修士，博士論文概要の紹介」などの掲載を引き続き行う。

昨年から計画している「ジオシンセティックス使用量に関するアンケート調査」を実施し，集計・取りまとめを行い，報告書の作成および技術情報に調査結果を公表する予定である。

＜具体的な活動内容＞

１．ジオシンセティックス技術情報の発行

ジオシンセティック技術情報は，従来通り年３回の発行とする。

（2020 年 3 月号，2020 年 7 月号，2020 年 11 月号）

２．編集委員会

編集委員会においては，ジオシンセティックス技術情報を滞り無く発行するための定例業務として，目次案の検討や原稿執筆状況の確認などを行うとともに，編集に際しての問題点の解決を行う。また，継続的な審議事項として，編集方針や内容分類の整理，テーマ特集号の設定，新企画の検討など，読者のニーズに合うように check and review を積極的に行う。なお，５月および７月の編集委員会では，2020 年度技術賞，技術奨励賞の受賞候補となる技術報文の推薦選考を行う予定である。

開催予定：４回程度（１月，５月，７月，９月を予定）

３．主査・副査担当者

主査・副査担当においては，編集委員会で決定した編集方針に基づくジオシンセティックス技術情報の実質的な編集作業として，原稿の内容確認などを行う。なお，今年度の主査・副査担当者は以下に示す通りである。また，編集作業は，基本的にはメールで作業を行う。

20 年 3 月号：主査　内村委員，副査：桝尾幹事，高橋委員
7 月号：主査　片山委員，副査：西村幹事，土橋委員
11 月号：主査　江崎委員，副査：小浪幹事，原田委員

（2）2020 年設営費計画

委員会設営費については，例年通りの交通費として以下の予算案としたい。

内　　訳	予算案（円）	備　　考
①　委員会経費 ・編集委員会	200,000	委員会交通費 （60,000×2 回+20,000×４回）
合　　計	200,000	

行事委員会 2019 年活動報告

（1）2019 年活動報告

第 34 回ジオシンセティックスシンポジウムを，12 月 5 日～6 日に佐賀大学で開催した。

［第 34 回ジオシンセティックスシンポジウム・開催概要］

主　　催：国際ジオシンセティックス学会日本支部

（共催：公益社団法人地盤工学会，協賛：一般社団法人繊維学会）

発表件数：28 編(研究開発論文 23 編，事例報告 5 編)

参 加 者：81 名

特別講演　三浦哲彦先生(佐賀大学名誉教授，軟弱地盤研究所所長)，委員会報告(ジオテキスタイル技術委員会，試験法委員会)，製品・工法紹介セッション(8 社・機関)

JC-IGS 論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式，懇親会 56 名

12 月 6 日　第 1 回行事委員会

（2）2019 年委員会設営費報告

内　　訳	予　　算	実　　績	備　　考
委員会設営費	100,000	52,560	
交通費・事務局旅費ほか	(50,000)	(45,560)	
通信費・消耗品費等	(30,000)	(7,000)	行事委員会 弁当代
論文集編集アルバイト代	(20,000)	(0)	

（3）シンポジウム収支報告

内　　訳	予　　算	実　　績	備　　考
第 34 回シンポジウム	0	▲290,184	(佐賀大学 開催)
収入	650,000	361,000	
	(450,000)	(265,000)	シンポジウム参加費
	(200,000)	(96,000)	懇親会参加費
		(0)	論文集販売
		(0)	請求書払い
支出	650,000	651,184	
	(0)	(78,000)	会場費
	(410,000)	(418,374)	論文集印刷費 180 部
	(60,000)	(10,000)	特別講演謝礼・交通費
	(30,000)	(25,100)	通信費・消耗品ほか
	(150,000)	(119,710)	懇親会費

第34回ジオシンセティックスシンポジウム収支

2019年12月5日･6日

《シンポジウム》	参加者	収入額
正会員	42	¥168,000
非会員	11	¥66,000
招　待	11	¥0
優　待	5	¥20,000
学　生	11	¥11,000
講演者	1	¥0
小　計	81	¥265,000

《 懇 親 会 》	参加者	収入額
参加者	32	¥96,000
受賞者	9	¥0
招　待	10	¥0
学　生	4	¥0
講演者	1	¥0
小　計	56	¥96,000

《請求書払い》	件　数	収入額
正会員		¥0
非会員		¥0
学　生		¥0
小　計	0	¥0

《論文集販売》	件　数	収入額
正会員		¥0
非会員		¥0
小　計	0	¥0

シンポジウム計	81	¥265,000
	総収入	¥361,000

行事委員会 2020 年活動計画

（1）2020 年活動予定内容

第 35 回ジオシンセティックスシンポジウムは 12 月 10 日～11 日，JGS 会館での開催を計画している。

2 月　　会場，日時の決定
2 月　　ジオシンセティックス技術情報，Web，メールでの発表論文募集への会告掲載
4 月　　地盤工学会･繊維学会へのジオシンセティックスシンポジウム共催依頼，広報依頼
5 月　　論文投稿の事前申込(題目と著者)，投稿要領の返送
7～11 月　技術情報誌，Web，メール，地盤工学会誌などにおける開催案内
8 月 3 日　論文の申し込み締切(本論文)
8 月上旬　第 1 回行事委員会
11 月上旬　登載判定，論文集の印刷
12 月 10 日～11 日(仮)　第 35 回ジオシンセティックスシンポジウム
一般発表，特別講演，製品・工法紹介，JC-IGS 論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式，
第 2 回行事委員会

（2）2020 年設営費計画

2020 年の予算（案）

内　　訳	予　　算	備　　考
行事委員会設営費	100,000	
交通費・事務局旅費ほか	(50,000)	
通信費・消耗品費等	(50,000)	

（3）シンポジウム開催費

シンポジウム開催費（案）

内　　訳	予　　算	備　　考
(収入)	750,000	
	(300,000)	シンポジウム参加費
	(70,000)	懇親会参加費
	(380,000)	シンポジウム補助費
(支出)	750,000	
	(100,000)	会場費
	(410,000)	論文集印刷費 180 部
	(60,000)	特別講演謝礼・交通費
	(30,000)	通信費・事務局旅費ほか
	(150,000)	懇親会費

2020 年　行事委員会・論文集編集委員会　名簿：

委　員　長：平川　大貴　(中央大学)
幹　事　長：小島　謙一　(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
委　　員：明永　卓也　(三菱ケミカルインフテック株式会社)
委　　員：金子　賢治　(八戸工業大学)
委　　員：河村　　隆　(信州大学)
委　　員：橘　　伸也　(神戸大学)
委　　員：辻　慎一朗　(前田工繊株式会社)
委　　員：中村　　努　(苫小牧高等工業専門学校)
委　　員：峯岸　邦夫　(日本大学)
オブザーバー：内村　太郎　(埼玉大学)

以上

学生・教育委員会　２０１９年　活動報告

（1）2019 年活動報告内容

1）委員会開催内容（メールにて審議）

プロモーションビデオの検討及び編集

入門セミナー・見学会の開催企画の検討

2）行事開催

入門セミナー

開催なし

見学会

開催なし

（2）2019 年委員会設営費報告

内　　訳	予　　算	実　　績	備　　考
委員会設営費【支出】			
会議費	20,000	0	
入門セミナー経費	40,000	0	
見学会経費	40,000	0	
ビデオ編集経費	0	20,000	ビデオ編集作業アルバイト
合計	100,000	20,000	残額　80、000 円

学生・教育委員会　２０２０年　活動計画

（1）2020 年活動予定内容

1）委員会開催

入門セミナー・見学会等の企画および技術資料の提供等に関して年 2 回程度の委員会を開催予定。

2）行事開催

ジオシンセティックス入門セミナー

現場見学会

（2）2020 年設営費計画

内　　訳	予　　算
委員会設営費	
会議費	20,000
見学会経費	40,000
入門セミナー経費	40,000
合計	100,000

表彰委員会 2019 年活動報告

（1）2019 年表彰委員会活動報告内容

・2019 年 IGS 日本支部賞の選考

2019 年 IGS 日本支部賞は下記の各賞について表彰規定により、表彰委員会にて選考した。
2019 年 12 月 5 日に表彰小委員会を行った。
2019 年 12 月 5 日のシンポジウム開催時に表彰を行った。以下に表彰者を示す。

①JC-IGS 論文賞
（ジオシンセティックスに関する学術および技術の進展に顕著な貢献をした論文の著者）
篠田昌弘，東野圭悟，久保哲也
「降雨ハザードを用いた地震時の補強土壁の確率論的リスク評価」

②JC-IGS 論文奨励賞
（ジオシンセティックスに関する研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者）
太田遥子，小野耕平，河村未奈
「ジオグリッドを用いた埋設管スラスト防護工法の形状寸法が付加抵抗力に与える影響について」

③JC-IGS 技術賞（ジオシンセティックスに関する技術の進展に顕著な貢献をした、個人・グループ）
藤田智弘，宮田喜壽
「道路における補強土壁の維持管理に関する取り組み」

④JC-IGS 技術奨励賞
（ジオシンセティックスに関する技術的研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者）
松田圭大，林啓二，原靖，木幡行宏，久保幹男，安達謙二
「グラベル基礎補強工法による軟弱地盤対策」

（2）2019 年表彰委員会設営費報告

筒、賞状代	6,518 円
盾代	59,400 円
計	65,918 円

表彰委員会 2020 年活動計画

（1）2020 年表彰委員会活動予定内容

・2020 年 IGS 日本支部賞の選考，報告など
・IGS 賞本部賞の選考など

（2）2020 年表彰委員会予算案

盾、賞状作成費として　150,000 円

以上

電子情報化委員会２０１９年活動報告

（1）2019 年活動報告内容

＜主な活動内容＞

・ HP の更新、改良（ニュース、データーベースなど）
・論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
・委員会の開催（2 回）、その他、メール審議等随時実施
・その他

1. HP の更新、改良について（定常業務）

IGS 本部、日本支部からの行事や情報（シンポジウムの案内、支部長選挙の立候補者募集など）について HP で発信

〇URL　http://www.jcigs.org/

2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

論文集：

J－Stage においてジオシンセティクス論文集を公開
・論文集 Vol.33 を新規に J-Stage への登録，公開

技術情報誌：

2008 年分まで：Journal@rchive で掲載
2009 年以降分：日本支部 HP 内での目次等を掲載（電子化準備）

3. その他

以下の項目に対して検討を行った
・各委員会への情報発信（発信内容・項目の整理、記載方法の検討）の問い合わせ、確認
・サーバーの内容を含めた将来構想の検討

（2）2019 年委員会設営費報告

予算：170,000 円

（内訳）
・ＨＰメンテナンス作業、論文登録作業：　31,000 円

＜支出合計＞　31,000 円

＜残　　金＞　139,000 円

電子情報化委員会２０２０年活動計画

（1）2020 年活動予定内容

＜主な活動内容＞

・ HP の更新、改良（ニュース、データーベースなど）
・論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
・委員会報告の充実

1. HP の更新、改良について

IGS 本部、日本支部からの行事や情報について HP を中心に発信
〇URL　http://www.jcigs.org/

2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

論文集：
J－Stage においてジオシンセティクス論文集を公開
・論文集 Vol.34 の J-Stage への登録，公開作業（4 月頃の予定）
・ J-Stage 事務局との対応・調整

技術情報誌：
2009 年以降分：日本支部 HP 内でのデータベースとして掲載予定（2008 年以前も合わせて全て掲載）
→・ 2020 年度内の予定

3. その他

・会員サービスの充実と国内・外への情報発信を目標とする
・各委員会コンテンツの充実（報告書の発信内容・項目の整理、記載方法の確定）
→・一般公開可能なものについては随時公開を行う（2020 年 4 月頃の予定）
・一般公開不可のものについては必要性を含め検討

（2）2020 年委員会設営費報告

予算：100,000 円

（内訳）

・ＨＰメンテナンス作業	50,000 円
・論文集電子化作業	30,000 円
・その他（事務手数料他）	20,000 円
＜支出合計＞	100,000 円

ジオメンブレン技術委員会（第XIステージ）２０１９年活動報告

（1）ジオメンブレン技術委員会 2019 年活動報告

2019 年は 2018 年後半よりスタートした第XIステージ「遮水材料の超長期耐候性」について活動を実施した。

活動内容としては、供用中の最終処分場より廃棄物に埋没していた遮水材料のサンプリング調査を実施し、2009 年にジオメンブレン技術委員会より発刊した「廃棄物処分場における遮水シートの耐久性評価ハンドブック」を改訂することを主な内容とする。

2019 年においては供用中の最終処分場 10 件のサンプリング調査を実施し、基本物性などの測定と解析を実施した。

（2）2019 年委員会設営費報告

委員会開催

2019 年　委員会設営費報告（自 2019 年 1 月 1 日～至 2019 年 12 月 31 日）

科　目	予　算	決　算	備　考
委員会交通費・調査費	¥300,000-	¥396,295-	委員会 7 回開催、調査費用
通信・消耗品費	¥100,000-	¥3,705-	会議費
	¥400,000-	¥400,000-	

2019 年　技術委員会（調査費用）にて計上分の追加設営費

（自 2019 年 1 月 1 日～至 2019 年 12 月 31 日）

科　目	予　算	決　算	備　考
調査費用	¥500,000-	¥176,355-	調査費用（サンプリング調査のための交通費等）
繰越金		¥323,645-	サンプリング費用の一部支払い繰越
	¥500,000-	¥500,000-	

ジオメンブレン技術委員会（第XIステージ）２０２０年活動計画

（1）2020 年活動予定内容

第XIステージのテーマ「遮水材料の超長期耐候性」を 2019 年より継続実施し、現在実施済みの 10 件のサンプリング調査の結果を、NPO 法人 廃棄物地盤工学研究会、NPO 法人 最終処分場技術システム研究協会、日本遮水工協会等の関連団体と協業にて取り纏めを行い、耐久性評価についてのハンドブックの発刊を予定している。

委員会組織（予定）

委 員 長：　島岡　隆行　（九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門）

副委員長：　勝見　武　（京都大学大学院 地球環境学堂）

副委員長：　熊谷　浩二　（八戸工業大学　名誉教授）

※ 委員については公募を行い、随時見直しを行う。

（2）2020 年設営費計画

2020 年　委員会設営費計画（自 2020 年 1 月 1 日～至 2020 年 12 月 31 日）

科　目	予　算	備　考
委員会交通費	¥300,000-	委員会 7 回開催
通信・消耗品費	¥100,000-	会議費
繰越金	¥230,000-	2019 年度遮水シート長期耐久性評価費用
調査費用	¥500,000-	サンプリングサンプルの試験評価費用等
	¥1,130,000-	

ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅷステージ）２０１９年活動報告

（1）ジオテキスタイル技術委員会 2019 年活動報告
2019 年は、新ステージの活動テーマの検討のみ行った。

（2）2019 年委員会設営費報告（自 2019 年 1 月 1 日～至 2019 年 12 月 31 日）

科　目	予　算	決　算	備　考
委員交通費	¥260,000－	¥0－	
通信・消耗品費	¥10,000－	¥0－	
合計	¥270,000－	¥0－	

ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅷステージ）２０２０年活動計画

（1）2020 年活動予定内容
ジオテキスタイル技術委員会第Ⅷステージでは，活動テーマを決定し，委員を募集して、委員会を２回開催する。

（2）2020 年設営費計画

科　目	予　算	備　考
委員交通費	¥130,000－	委員会 2 回開催：¥65,000(1 回)×2 回=¥130,000
通信・消耗品費	¥10,000－	郵便、通信、資料コピー
合計	¥140,000－	

コーポレートメンバー委員会２０１９年活動報告

（1）2019 年活動報告内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載した。
  - ・3 月号　　前田工繊株式会社
  - ・7 月号　　鹿島建設株式会社
  - ・11 月号　　三菱ケミカルインフラテック株式会社

- 第 34 回ジオシンセティックスシンポジウム佐賀で行事委員会と協調して、「コーポレートメンバー」の製品・工法紹介のセッションを設けた

（2）2019 年委員会設営費報告

委員会設営費	：	収入	50,000 円
		支出	0 円
		残金	50,000 円

コーポレートメンバー委員会２０２０年活動計画

（1）2020 年活動予定内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載する。
- ジオシンセティックス使用量アンケート調査への協力
- コーポレートメンバー会議の開催
- 各委員会からの連絡事項への協力と協調（試験法の改訂や JIS に伴う情報交換など）
- ＩＧＳ本部選挙の協力と選挙名簿のメンテナンス
- その他／会社単位での入会勧誘活動を行う。

（2）2020 年委員会設営費計画

委員会設営費	：	収入	50,000 円

※）会議費等で使用予定

新技術委員会２０１９年活動報告

（1）2019 年活動報告内容

新技術委員会では 2019 年の活動として、

① ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催

② 新技術関連の講演会の開催

を計画した。

① については、開催することができなかった。

② については、開催することができなかった。

なお、前委員長との引き続きを兼ねた幹事会を 1 回（2019 年 9 月 4 日）開催した。

（2）2019 年委員会設営費報告

2019 年の設営費報告を以下に示す。

収入	支出	残額	支出項目	備考
100,000	0			
		100,000		

新技術委員会２０２０年活動計画

（1）2020 年活動予定内容

新技術委員会では 2020 年も 2019 年活動ができなかった分、積極的に活動を行う。

活動内容としては、

① ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催

② 新技術関連の講演会の開催

（2）2020 年設営費計画

2020 年の設営費計画を以下に示す。

交通費	会議費	講演会費	計	備考
30,000	20,000	50,000	100,000	

ジオシンセティックス試験法委員会２０１９年活動報告

（1）試験法委員会の活動概要

・地盤工学会基準部に設置されている室内試験規格・基準検討委員会内のジオシンセティックス WG と連携して作業を進めている。

・2019 年は,「JIS L 0221 ジオシンセティック用語」を廃止し，JIS L 0221 の改訂版として，新規に「JIS A 0208 ジオシンセティックス用語」を制定し刊行した。

・「JIS A 0208 ジオシンセティックス用語」の規格内容について，2019 年 12 月 5 日～6 日に佐賀大学で開催された第 34 回ジオシンセティックスシンポジウムにて，会員への説明を行った。

（2）2019 年委員会設営費報告

2019 年は，経費節減のため，メール審議を中心に活動したことから，委員会設営費を使用せずに活動した。

内　　訳	予算（円）	実績（円）	備　　考
①　委員会経費 ・試験法委員会	200,000	0	
合　　計	200,000	0	残 200,000 円

ジオシンセティックス試験法委員会２０２０年活動計画

（1）活動計画

1)地盤工学会／ジオシンセティックス WG と連携して，地盤工学会刊行の「地盤材料試験の方法と解説」に記載されている一連のジオシンセティックスに関する試験方法と解説の改訂作業を実施する予定である。

2) ISO で制定されている国際規格を参照しながら，今後，我が国において必要なジオシンセティックス基準を検討するとともに，土研センター，国内メーカー及び関連協会等と意見交換しながら，基準化すべき試験法を抽出する。

3)国内のジオシンセティック試験法に対する要望を収集するために，継続的に，IGS 日本支部コーポレートメンバー委員会との意見交換会を実施する予定である。

（2）2020 年設営費計画

委員会を 2 回開催する予定であることから，以下の予算案としたい。

内　　訳	2020 年予算案（円）	備　　考
①　委員会経費 ・試験法委員会	200,000	委員会交通費 （100,000×2 回） 熊本あるいは苫小牧－東京(２回程度)
合　　計	200,000	

IGS日本支部　2019年会計決算

期間：2019年1月1日 ～ 2019年12月31日

資料２－１

＜ 収入の部 ＞

科　　目		2019年 予算	2019年 実績	備　　考
1. 会費等収入				
①2019年分	個人会員	1,544,000	1,464,000	183名 × 8,000円
	学生会員	12,000	10,000	10名　× 1,000円
	法人会員	4,320,000	4,560,000	19社　× 240,000円
	先払分		57,000	2020年以降分（個人・学生年会費）
②本部還付金	法人会員分	99,900	98,559	18社 × 50＄（109.51円/$）
	(小計)	*5,975,900*	*6,189,559*	
2. 講習会・出版物販売収入				
	シンポジウム	650,000	361,000	参加費（論文集代）・懇親会費
	書籍・ビデオ等販売	3,000	0	論文集・技術情報
	(小計)	*653,000*	*361,000*	
3. 広告等収入				
	技術情報誌広告	528,000	528,000	3月号・7月号・11月号
	(小計)	*528,000*	*528,000*	
4. 受取利息				
	受取利息	100	136	
	雑益		1,000	
	(小計)	*100*	*1,136*	
	収入合計	*7,157,000*	*7,079,695*	
5. 繰越金				
	繰越金	21,157,449	21,157,449	前期繰越金
総　合　計		28,314,449	28,237,144	

＜支出の部＞

科　　目	2019年 予算	2019年 実績	備　　考
1. 本部国際学会費			**担当：事務局**
個人会員	642,690	617,636	188名　×　30＄　(109.51円/＄)
法人会員	1,998,000	2,080,690	19社 × 1,000＄　(109.51円/＄)
法人会員　新規入会金	0	32,853	1社　×　300＄　(109.51円/＄)
(小計)	*2,640,690*	*2,731,179*	
2. 出版費・講習会等補助費			
シンポジウム	650,000	651,184	**担当：行事委員会**
技術情報(3・7・11月号)	1,150,000	677,362	**担当：編集委員会**
会員名簿	150,000	124,960	**担当：事務局**
講習会・見学会補助費	100,000	0	
(小計)	*2,050,000*	*1,453,506*	
3. 委員会経費			**担当：各委員会**
国際連絡委員会	1,500,000	593,059	本部理事会派遣費
編集委員会	200,000	200,000	技術情報発行費別
行事委員会	100,000	52,560	シンポジウム・論文集発行費別
学生・教育委員会	100,000	20,000	プロモーションビデオテロップ編集作業
表彰委員会	150,000	65,918	盾・賞状作製費含む
電子情報化委員会	170,000	31,000	HPメンテナンス作業費，論文集電子化作業費
ジオメンブレン技術委員会	400,000	400,000	
ジオテキスタイル技術委員会	140,000	0	
コーポレートメンバー委員会	50,000	0	
技術委員会	800,000	176,355	調査費用（ｼﾞｵﾒﾝﾌﾞﾚﾝ技術委員会で使用）
新技術委員会	100,000	0	
ジオシンセティックス試験法委員会	200,000	0	
(小計)	*3,910,000*	*1,538,892*	
4. 事務局経費・その他			**担当：事務局**
総会	100,000	137,726	会場費，懇親会費，往復はがき，荷物発送費
地盤工学会（特別会員2級）	350,000	160,000	年会費，会議室使用料，コピー代他
レンタルサーバー代	50,000	24,439	HP・メーリングリスト用
通信費	150,000	88,281	郵便物発送費
消耗品費	50,000	7,719	事務消耗品
傭人費	500,000	500,000	事務局傭人費
幹事会	40,000	15,000	会議費
手数料	30,000	20,030	年会費郵便局払込手数料，銀行各種手数料
その他	150,000	2,140	慶弔費等，謝金，事務局交通費他
(小計)	*1,420,000*	*955,335*	
支出合計	*10,020,690*	*6,678,912*	
5. 繰越金			
繰越金	18,293,759	21,558,232	次期繰越金
総　合　計	28,314,449	28,237,144	

IGS日本支部　2020年会計予算

期間：2020年1月1日 ～ 2020年12月31日

資料２－３

＜ 収入の部 ＞

科　　目		2020年 予算	備　　考
1. 会費等収入			
①2020年分	個人会員	1,576,000	197名× 8,000円
	学生会員	10,000	10名　× 1,000円
	法人会員	4,560,000	19社　× 240,000円
②本部還付金	法人会員分	105,450	19社　× 50＄（111.00円/$）
	(小計)	*6,251,450*	
2. 講習会・出版物販売収入			
	シンポジウム	750,000	参加費(論文集代)・懇親会参加費
	書籍・ビデオ等販売	3,000	
	(小計)	*753,000*	
3. 広告等収入			
	技術情報誌広告	528,000	3月号・7月号・11月号
	(小計)	*528,000*	
4. 受取利息			
	受取利息	100	
	(小計)	*100*	
	収入合計	*7,532,550*	
5. 繰越金			
	繰越金	21,558,232	前期繰越金
総　合　計		29,090,782	

＜支出の部＞

科　　目	2020年 予算	備　　考
1. 本部国際学会費		**担当:事務局**
個人会員	656,010	197名　×　30＄　(111.00円/＄)
法人会員	2,109,000	19社 × 1,000＄　(111.00円/＄)
(小計)	*2,765,010*	
2. 出版費・講習会等補助費		
シンポジウム	750,000	**担当 : 行事委員会**
技術情報(3・7・11月号)	1,150,000	**担当 : 編集委員会**
会員名簿	150,000	**担当 : 事務局**
講習会・見学会補助費	100,000	
(小計)	*2,150,000*	
3. 委員会経費		**担当 : 各委員会**
国際連絡委員会	2,000,000	本部理事会派遣費
編集委員会	200,000	技術情報発行費別
行事委員会	100,000	シンポジウム・論文集発行費別
学生・教育委員会	100,000	見学会・入門セミナー含む
表彰委員会	150,000	盾・賞状作製費含む
電子情報化委員会	100,000	
ジオメンブレン技術委員会	1,130,000	
ジオテキスタイル技術委員会	140,000	
コーポレートメンバー委員会	50,000	
技術委員会	300,000	調査費用 (技術委員会全体の予備費)
新技術委員会	100,000	
ジオシンセティックス試験法委員会	200,000	
(小計)	*4,570,000*	
4. 事務局経費, その他		**担当 : 事務局**
総会	300,000	会場費, 懇親会費, 往復はがき, 総会荷物発送費
地盤工学会 (特別会員2級)	200,000	年会費, 会議室使用料, コピー代他
レンタルサーバー代	30,000	HP・メーリングリスト用
通信費	150,000	技術情報発送費, 郵便物発送費
消耗品費	50,000	事務消耗品
傭人費	500,000	事務局傭人費
幹事会	40,000	会議費
手数料	30,000	年会費郵便局払込手数料, 銀行各種手数料
その他	150,000	慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他
(小計)	*1,450,000*	
支出合計	*10,935,010*	
5. 繰越金		
繰越金	18,155,772	次期繰越金
総　合　計	29,090,782	

資料３

監　査　報　告　書

国際ジオシンセティックス学会日本支部の２０１９年一般会計について
帳簿・証票・書類等を検証の結果、適正かつ正確であることをご報告申し上げます。

２０２０年2月6日

監事　　明永　卓也

署名　明永卓也

監事　　石川　雅洋

署名　石川雅洋

資料４

国際ジオシンセティックス学会日本支部　２０２０年　役員名簿

２０２０年2月６日

支部長	桑野　二郎	(埼玉大学)
副支部長	*宮田　喜壽	(防衛大学校)
幹事長	*平井　貴雄	(三井化学産資株式会社)
副幹事長	横田　善弘	(前田工繊株式会社)
会計･幹事	*伊藤　雅夫	(前田工繊株式会社)
幹事	井塲　道夫	(三ツ星ベルト株式会社)
幹事	内村　太郎	(埼玉大学)
幹事	*勝見　　武	(京都大学)
幹事	鎌尾　彰司	(日本大学)
幹事	嘉門　雅史	(一般社団法人環境地盤工学研究所)
幹事	*菊池　喜昭	(東京理科大学)
幹事	清川　伸夫	(東京インキ株式会社)
幹事	熊谷　浩二	(八戸工業大学)
幹事	小島　謙一	(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
幹事	古関　潤一	(東京大学)
幹事	木幡　行宏	(室蘭工業大学)
幹事	*篠田　昌弘	(防衛大学校)
幹事	*島岡　隆行	(九州大学)
幹事	龍岡　文夫	(東京理科大学)
幹事	平川　大貴	(中央大学)
幹事	桝尾　孝之	(太陽工業株式会社)
幹事	三木　博史	(株式会社三木地盤環境工学研究所)
幹事	*峯岸　邦夫	(日本大学)
幹事	毛利　栄征	(茨城大学)
幹事	矢島　寿一	(明星大学)
監事	明永　卓也	(三菱ケミカルインフラテック株式会社)
監事	石川　雅洋	(東洋紡株式会社)
事務局	奈良真紀子	(IGS 日本支部事務局)

＊ 再任　＃ 新任

資料５

国際ジオシンセティックス学会日本支部規程　新旧対照表　（傍線の部分は改正部分）

2020 年 2 月 6 日

現　行	改正案
1. 名称 1.1 国際ジオシンセティックス学会日本支部（以下支部という）と称する。支部の事務局は社団法人地盤工学会内におく。	**1. 名称** 1.1 国際ジオシンセティックス学会日本支部（以下支部という）と称する。~~支部の事務局は社団法人地盤工学会内におく。~~（削除）
3. 会員 3.3 個人会員は、原則として地盤工学会の正会員、または特別会員の法人もしくは団体に所属するものとする。	**3. 会員** ~~3.3 個人会員は、原則として地盤工学会の正会員、または特別会員の法人もしくは団体に所属するものとする。~~（本項削除）
4. 会費 4.1 年会費の額は総会によって決定する。	**4. 会費** 4.1 年会費の額に変更がある場合は総会によって決定する。
6. 役員 6.1 支部には次の役員をおく。 幹 事 20 名以内	**6. 役員** 6.1 支部には次の役員をおく。 幹 事 25 名以内
6.2 役員の選出 6.3.6 監事は、支部の会計を監査する。	6.2 役員の選出 6.3.6 監事は、支部の会計および運営を監査する。
7. 総会 7.1 総会の開催 7.1.1 通常総会は、各年一回定期的に開催する。開催時期は会計年度末日（12 月 31 日）より２ヶ月以内とする。	**7. 総会** 7.1 総会の開催 7.1.1 通常総会は、各年一回定期的に開催する。開催時期は会計年度末日（12 月 31 日）より３ヶ月以内とする。
8. 委員会活動 8.5 (社)地盤工学会ジオシンセティックス工学委員会との連絡は幹事会が行う。	**8. 委員会活動** ~~8.5 (社)地盤工学会ジオシンセティックス工学委員会との連絡は幹事会が行う。~~(本項削除)
付則.1 本規定は 2009 年通常総会以降実施する。	付則.1 本規程は 2020 年通常総会以降実施する。
付則.2 年会費は次の通りとする。 1. 個人会員 8,000 円 2. 特別会員 240,000 円 3. 学生会員 1,000 円 1 月 1 日～10 月 31 日までに入会した場合は、入会年度の会費を徴収する。11 月 1 日以降に入会した場合は、当年度会費を免除する。4 月から社会人になる学生会員は、当年度は学生会員のままとする。	付則.2 年会費は次の通りとする。 1. 個人会員 8,000 円 2. 学生会員 1,000 円 3. 特別会員 240,000 円 1 月 1 日～10 月 31 日までに入会した場合は、入会年度の会費を徴収する。11 月 1 日以降に入会した場合は、当該年度会費を免除する。4 月から社会人になる学生会員は、当該年度は学生会員のままとする。
	付則.4 特別会員の入会の際には、本部が定める入会金相当額を徴収する。（付則の追加）
所在地：東京都文京区千石四丁目 38 番 2 号 （社）地盤工学会内 名 称： 国際ジオシンセティックス学会 日本支部 代表者：支部長　三 木 博 史	所在地：埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学　工学部　環境社会デザイン学科内 名　称：国際ジオシンセティックス学会 日本支部 代表者：支部長　桑 野 二 郎
	全体表記：タイトルで用いている「国際ジオシンセティクス学会日本支部規程」の表記に合わせ規定と記載の部分を規程に変更

資料５

国際ジオシンセティックス学会日本支部規程

Japan Chapter of the International Geosynthetics Society (JCIGS)

1984 年 9 月 1 日制定
2007 年1 月25 日改正
2009 年 2 月 5 日改正
2020 年 2 月 6 日改正

1. 名称

1.1 国際ジオシンセティックス学会日本支部（以下支部という）と称する。

2. 目的

2.1 国際ジオシンセティックス学会（以下学会という）に参加し、ジオシンセティックスに関する情報の収集と交換、技術の向上と発展をはかる。

3. 会員

3.1 会員は、個人会員、学生会員と特別会員により構成される。
3.2 個人会員、学生会員と特別会員は自動的に本部の学会員となる。
3.3 会員は、学会および支部が刊行する会誌等の配布を受けるとともに、学会または支部の刊行物の入手および事業への参加について特典を有する。

4. 会費

4.1 年会費の額に変更がある場合は総会によって決定する。
4.2 年会費は国際学会費と支部会費とを合わせたものとし、通貨は日本円とする。
4.3 会計年度は、毎年 1 月 1 日より 12 月 31 日までとする。
4.4 会費は当年 4 月末日までに納入する。
4.5 支部顧問については、会費の徴収を行わない。

5. 入会、脱退および退会

5.1 会員になろうとするものは、会費を添えて入会申込書を学会事務局に提出する。入会の日付は事務局が会費の納入を確認した日とする。
5.2 会員は学会事務局に書面通知を届けることにより、いつでも脱退できる。
5.3 脱退は、通知に明記された日付または日付明記のない時は会費払込期間の終了時に発効する。
5.4 学会あるいは支部の目的や利害に反して行動する会員はそれを理由として幹事会の多数決により退会させることができる。また、会員は会費の不払いの理由で退会させることができる。
5.5 脱退または退会は、それが行われる年度に対する会費の支払い義務から当該会費を免除しない。

6. 役員

6.1 支部には次の役員をおく。
支 部 長 1名
副支部長 1名
幹 事 長 1名
副幹事長 2名
会計･幹事 1 名
幹 事 25 名以内
監 事 2名

6.2 役員の選出
6.2.1 支部長は別に定める選挙規程により全会員の投票によって選出する。
6.2.2 支部長を除く他の役員は、支部長が推薦し、通常総会で承認を得る。幹事については公募で応募することができる。その場合は、幹事会で推薦し総会で承認を得る。
6.2.3 役員の任期は、原則として就任した通常総会から次々期の通常総会までの 2 年間とする。但し、再任を妨げない。
6.2.4 補欠による役員は支部長が任命しその任期は前任者の残任期間とする。

6.3 役員の任務
6.3.1 支部長は支部を総括し、この支部を代表する。
6.3.2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が職務に支障を生じたときには、その職務を代行する。
6.3.3 幹事長は幹事会を総括し、支部長、副支部長が職務に支障を生じたときには、その職務を代行する。
6.3.4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長が職務に支障を生じたときには、その職務を代行する。
6.3.5 役員全員で幹事会を組織し、支部の運営にあたる。
また、この規程に定める事項以外の事項を決議することができる。
6.3.6 監事は、支部の会計および運営を監査する。

6.4 支部に役員のほか、支部顧問をおくことができる。
支部顧問は幹事会で推薦し、通常総会で承認を得る。

7. 総会

7.1 総会の開催
7.1.1 通常総会は、各年一回定期的に開催する。開催時期は会計年度末日（12 月 31 日）より 3 ヶ月以内とする。
7.1.2 臨時総会は、特別の案件を処理するため、支部長または幹事会が必要と認めたときに開催する。支部長または幹事会は通常または臨時総会につき、少なくとも 1 ヶ月前までに会員に事前通知を行わなければならない。

7.2 総会の機能
7.2.1 総会の議長は、支部長または幹事会で選出された幹事があたる。
7.2.2 次の事項は、通常総会に報告してその承認を受けなければならない。
1.事業報告および収支決算に関する事項
2.事業計画および収支予算に関する事項
3.その他、幹事会において必要と認めた事項
7.2.3 通常総会は前項 1 ～3 の他、次の事項を決議する。
1.役員の承認
2.規程の変更
7.2.4 総会は、会員数の 2 分の 1 以上の出席がなければ議決することができない。ただし、書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席者とみなす。
7.2.5 議決権は、個人会員 1 票、特別会員は 5 票とする。
7.2.6 総会の議事は、規程の変更を除き出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
7.2.7 規程変更の決議は、通常総会において出席者の 4 分の 3 以上をもって決する。

8. 委員会活動

8.1 学会および支部の活動を推進するため、委員会を設けることができる。
8.2 委員会の任務は幹事会で決める。
8.3 委員会の成果は会員に報告する。
8.4 国際連絡委員会を常設し、国際ジオシンセティックス学会との連絡にあたる。

付則.1 本規程は 2020 年通常総会以降実施する。
付則.2 年会費は次の通りとする。
1. 個人会員 8,000 円
2. 学生会員 1,000 円
3. 特別会員 240,000 円
1 月 1 日～10 月 31 日までに入会した場合は、入会年度の会費を徴収する。11 月 1 日以降に入会した場合は、当該年度会費を免除する。4 月から社会人になる学生会員は、当該年度は学生会員のままとする。
付則.3 IGS 本部の規程の変更があった場合、かつ当支部の規程にない項目については、幹事会の決議によって運用することができる。
付則.4 特別会員の入会の際には、本部が定める入会金相当額を徴収する。

上記は内容に相違ないことをここに証明する

所在地：埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

資料５

埼玉大学　工学部　環境社会デザイン学科内

名　称：国際ジオシンセティックス学会 日本支部
代表者：支部長　桑　野　二　郎